

申5号 「ダイヤ改正について」に関する申し入れ 団体交渉開催! ⑤

⑥乗務員区と（営業）統括センターを兼務発令する場合は、規定・業務内容・職務箇所について、組合員・社員に対して丁寧な説明を行うこと。

組合：昨年より各運輸区において関係する営業統括センターとの兼務が行われている。具体的な業務内容を明らかにすること。

- 会社：●土浦運輸区は車掌を中心に土浦駅「乗客」ダイヤの見習い。イベント対応。
 ●水戸運輸区は一部の社員が水戸駅での案内業務等。
 ●勝田運輸区は副長1名が勝田駅の当務駅長を行っている。一般社員は希望者を募り、改札業務の見習いを行っている。その他はイベント対応。
 ●いわき運輸区はJビレッジ駅での改札やイベント対応。
 ●原ノ町運輸区は今後発足する統括センター化を見据え、駅で業務の見学や取扱い機器の勉強等。
 ●水郡線統括センターはイベント列車の出迎えや駅での改札業務等である。

組合：各兼務で行っている業務内容の成果や課題を明らかにすること。

会社：関心の幅が広がり、発意を持ってイベントの企画業務等を行っている。

組合：土浦運輸区が土浦駅の「乗客」ダイヤに入っているが、いつまでに一人で仕事を行えるようになるのか明らかにすること。

会社：車掌は全社員が1回見習い業務を終えた。全員やるのか段階的に1本になるのか、現段階では決まってない。習熟度を見ながら実施したいと考えている。

組合：組合員・社員の不安はより増している。具体的スケジュールも再度組合員・社員に示して、丁寧な説明をすべきではないか。いつ、どのように1本になるのか方向性を出していただきたい。

会社：現場間の調整を大切にしている。まずは経験を積ませることを目的とした。基本は3回で1本の予定だが、今後の進め方は調整中である。「乗客」ダイヤの見習いについて、選択と集中も必要であると考えている。

組合：当面はどのように進めるのか。これでは組合員に答えられない。

会社：いつの段階で1本になるのか等、現段階では見えていない。目指しているのは業務の融合であり、将来的には作業ダイヤの融合である。

組合：「水郡線統括センターの新設について」における団体交渉では、駅で見習いをしたら1年以上経過してしまうことを議論した。同じ繰り返しをして良いのか。担う組合員・社員は不安を抱いており、今交渉でも「調整中」の回答であればより不安は増大する。今後どうするのか示すべきではないのか。

会社：経験した社員やマネジメントした社員から意見を聞き、支社として舵を切っていきたい。現段階では方向性を示せない。

組合：調整して今後の方向性が決まったら示すこと。

実施ありきではなく、将来展望を見据えて施策を進めることを議論しました!